

相武台自治会だより

第44号

令和5年11月18日発行

相武台東小学校避難所開設訓練が行われました

9月10日(日)に、第5回目となる相武台東小学校避難所開設訓練が、同校にて、市職員、学校教職員、対象自治会の運営委員や防災委員及び一般の方々、合わせて68名が参加して行われました。

訓練は、まず同校の校庭に設置されている「貯水槽の確認」が行われ、大人1人1日3リットルとして、6,000人の3日分の非常用飲料水が確保されている、との説明に皆さん驚いておられました。次に体育館にて「避難所用テントの組み立て」を全員の方に体験してもらいました。最後は「段ボールトイシの組み立て」を希望の方に体験してもらいました。

最後に、市職員の方より「非常時においてはコミュニケーションをとることが大事であり、日頃からこのような訓練を通じて、地域の交流を図ることが大切である。」との講評を頂いて、閉会となりました。

なお、当自治会におきましては、第7区から第17区の方々の避難所は座間中学校となります。同校においても、同様に避難所開設訓練が行われています。



市民レクリエーション大会が開催されました

10月22日(日)に、相武台東小学校校庭にて、相武台地区自治会連合による市民レクリエーション大会が開催されました。

当日は秋晴れに恵まれ、小人約50名、大人約100名の約150名と、例年よりも多くの方々が参加されました。

開会式に続いて、レースが始まり

- ① 缶釣りレース (釣り竿の糸先の針を、缶の口に入れて釣り上げて、カラーコーンを周回する)、
- ② スプーンレース (スプーンにボールを乗せてカラーコーンを周回する)、
- ③ パン食いレース (感染症対策として、手で取るようにルールを変更しましたので、パン取りレースです) の順に行われました。

レースとは言っても順位を競うものではない、とは言っても、いつしか熱が上がって、競争の様子を呈する場面もしばしば見受けられました。最後に

- ④ 民謡踊り (座間音頭ときよしのずんどこ節を2回ずつ、音楽と太鼓の音に合わせて踊ります) を楽しんでいただいた後、閉会式にて終了となりました。

参加された皆さんは、お茶やパンの他にも、レースや踊りの参加賞である小池地区の新鮮野菜を抱えて、笑顔の帰路となりました。

